

NEWS RELEASE

2019 年 4 月 26 日
株式会社三菱総合研究所

2019 年 1-3 月期 GDP 1 次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より5月20日(月)に公表予定の2019年1-3月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2019年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%(年率+1.4%)と予測します。

2019年1-3月期の実質GDPは、季節調整済前期比+0.4%(年率+1.4%)と、2四半期連続でのプラス成長を予測する。輸出は減少に転じたものの、内需が緩やかながらも増加したとみられる。

消費は、同+0.1%と2四半期連続の増加を予測する。消費者マインドが悪化する一方、雇用・所得環境の改善継続が消費を下支えしているとみられる。設備投資は、人手不足などを背景に情報化投資や自動化・省力化投資などに対するニーズの強さは継続しているものの、製造業を中心に輸出・生産の下振れによる企業の投資姿勢の慎重化もみられ、同+0.6%と前期から伸び鈍化を予想する。

輸出は、半導体関連需要の調整が下押し圧力となるなか、中国やASEANなどアジア向け輸出が減少し、同▲2.5%と2四半期ぶりの減少を予測する。輸入は、大幅な増加となった前期からの反動もあり、同▲3.0%の減少を予想する。結果として、外需の寄与度は+0.1%ポイントと4四半期ぶりのプラスを見込む。

表 2019 年 1-3 月期 GDP 速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比(%)		2018年			2019年
		4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 実績	1-3月期 予測
実質GDP		0.5	▲ 0.6	0.5	0.4
	季調済前期比年率	(1.9)	(▲2.4)	(1.9)	(1.4)
民間最終消費		0.6	▲ 0.2	0.4	0.1
民間住宅投資		▲ 2.0	0.6	1.1	0.4
民間企業設備投資		2.5	▲ 2.6	2.7	0.6
民間在庫	寄与度	▲ 0.1	0.1	0.0	0.0
政府最終消費		0.1	0.2	0.7	0.1
公的固定資本形成		▲ 0.7	▲ 2.3	▲ 1.7	0.0
財・サービス 輸出		0.4	▲ 1.4	1.0	▲ 2.5
財・サービス 輸入		1.3	▲ 0.7	2.7	▲ 3.0
内需	寄与度	0.6	▲ 0.5	0.8	0.2
民需	寄与度	0.6	▲ 0.4	0.7	0.2
公需	寄与度	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1	0.0
外需	寄与度	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	0.1
名目GDP		0.4	▲ 0.5	0.4	0.8
	季調済前期比年率	(1.6)	(▲2.1)	(1.6)	(3.4)
GDP デフレーター	前年同期比	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 0.3	0.3
国内需要 デフレーター	前年同期比	0.5	0.6	0.5	0.3

注：表中の実績値は、2018年10-12月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
出所：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 森重彰浩 田中康就

電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【取材に関するお問い合わせ】

広報部

電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp